



「富士山百景」いい日旅立ち

VOL. 2561 Rotary International

「変化する年度・第一歩」

第2561回例会 2016.12.14

ソング「それこそロータリー」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:小 出 隆 久
 副会長:滝 克 芳
 幹 事:岸 本 泰 次
 副幹事:石 井 誠

会長挨拶

小 出 隆 久

《知っていますか? 年末年始のしきたり・習慣》

正月を迎える準備にあたり、古くからの行事や習慣、しきたりを意識させられる。そこで、いわれや由来について調べてみました。

1.餅入りの雑煮を食べる

餅は一年の幸せをもたらしてくれるという年神様への供物で、「年玉」(年魂)とも言われる。年神様が宿るとされる餅を食べ、新しい命をいただくという意味がある。室町時代ごろに、胃を落ち着かせるために酒宴のはじめにだされていたものが、正月用の料理に転じた。

2.お年玉をあげる

もとは「年魂」と書く。年神様への供え物だった丸い餅を指し、その餅を年神様からの贈り物として年少者らに分け与えていた。江戸時代後半ごろから餅が金銭に代わったとされる。

3.神社参りでは二拝二拍手1拝

神社ではまず神様に敬意を表して二拝し、拍手で自分が来たことをお知らせし、最後にお礼の意味を込めて頭を下げる。明治以降に現在の方式に統一されるようになった。まずは1年間無事に過ごせたことへの感謝を神様に伝えよう。心をこめて頭を下げる。

4.元旦におとそ・お神酒

おとそは中国から伝わった楽酒で、漢字で「御屠蘇」と書く。邪気を払って長寿と健康を願って飲んだ。

5.大みそかに年越しそば

諸説あり、一つは歳末に忙しかった商人が食べた「みそかそば」がもとになったという。細く長いそばを食べれば、寿命が延びるなど起枝を担ぎ、切れやすいそばは1年の苦労や災難を切り捨てるとも。大みそかなら食べる時間は気にする必要はないようだ。

幹事報告

岸 本 泰 次

①例会変更のお知らせ

新富士RC 12/20(火) ガバナー補佐公式訪問

(12:30~音楽会 フルート&ピアノ)

12/27(火) 特別休会

1/10(火) 新年例会(夜間) 18:30~グリーンホテル

1/17(火) 特別休会

富士山吉原RC 12月15日(木) 忘年家族会

12月29日(木) 特別休会

MUは、15日と29日 11:30~12:30ホワイトパレスフロント

沼津RC 12/23 移動例会

12/30 特別休会

富士宮西RC 12月16日 夜間例会へ

12月23日 休会

12月30日 休会

柿田川RC

■例会場/沼津卸商社センター

411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203

TEL 055-971-6500 駐車場は建物裏手(西側)

■ご注意

*メイクアップにお越し頂ける場合は、食事の手配の関係上事前に事務局(055-969-2321)までご連絡頂きますと助かります。

*サインのみメイクアップ受付時間は、11:30~12:30となります。

②ガバナー事務所よりお知らせ

・12月ロータリーレート 106円

③会報回覧

沼津クラブ 赤十字NEWS



例会プログラム予告

12月21日 夜間例会 忘年家族会

親睦委員会

野坂富士雄

夫人誕生日 瀬尾 紘子 12.12
瀧 喜代子 12.19

☆私のスマイル

野坂富士雄君 来週のクリスマス家族会の協賛品募集にご協力を頂き、ありがとうございます。楽しい会になりそうです。ご期待下さい。

中島康治君 本日の会員増強フォーラムよろしく願い申し上げます。

出席報告

野坂富士雄

2561回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	9名	24名	72.7%

2559回 11/30確定

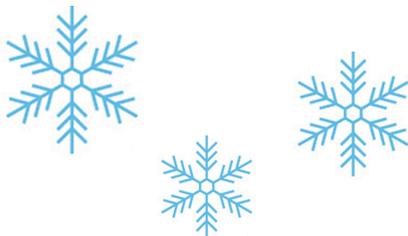
会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	4名	29名	87.8%

(ビジター) 前島正容君(ガバナー補佐)
穂坂勝彦君(ガバナー補佐事務局)

クラブフォーラム

会員増強について

何人かの候補者を挙げた。どのように勧誘をしていくか次回のクラブフォーラムで話し合っていく。



⌘ 社会奉仕委員会より ⌘
12月15日 交通安全街頭指導
集合:市役所前 AM7:00



第3回ガバナー補佐公式訪問



国際ロータリー第2620地区 静岡第3分区
ガバナー補佐 前島正容氏

第1回期首訪問、ガバナー公式訪問、第2回目、そして第3回目の訪問となりました。

まず持って、11月の地区大会には多くの皆様のご参加、ありがとうございました。

さて、本年はロータリー財団が設立されて100年を迎えました。ジョン・ジャームRI会長を迎えて、11月27日に東京で記念式典が行われ、また、11月28日～12月1日には第45回ロータリー研究会が名古屋にて開催されました。大変レベルの高い時間でこれに参加した経験はガバナー補佐として大変有意義でした。これから第3分区に還元したいと思います。

今年度は、頭初から規定審議会の大きな変更がありました。今回の変更は、様々な事案についてクラブの裁量が大幅に増えたことです。例会回数や入会金の有無であり、そして何といてもクラブの多様性が大きく広がったことです。

また、前述のロータリー研究会では、多様性に富んだクラブの紹介がありました。例を挙げますと一昨年に設立された東京のクラブは、思い切り会員の枠を広げ、若いベンチャー企業主、一般社会人、専業主婦、財団・米山学友などを対象にした新しい試みに挑んだクラブが誕生でした。例会は月2回で夜7時から8時です。設立時に会員数28名でしたが、現在120名を超え、来年は200名の目標ということです。会費は、会員レベルによって50,000円～150,000円と幅を設けました。

また、12月7日に山梨第一分区に甲斐の里RCが誕生しました。第2620地区としては79番目のクラブとなり、14年ぶりの新クラブです。例会は昼と夜の2回、食事なしにして会費の低減を目指しました。さらに活性化のために40%以上の女性会員を維持する内規を設けました。

このようなクラブの良い点を参考にして、会員が和気あいあいと社会奉仕ができればと感じました。しかし「多様性」は試行錯誤の段階です。大胆の中に慎重さを兼ね備えることも肝要と思われませんが、いずれにしても会員皆様の「総意」が重要だと思います。

論語「温故知新」の重さを、クラブ内で議論していただければと存じます。

結びに、2017年2月26日は当分区のIMが富士宮の地で開催されます。多くの皆様方のご参加を心より歓迎申し上げます。何卒、宜しく願い申し上げます。

編集者 佐藤昌久